

集中治療部

研修科目	集中治療（選択研修）プログラム
研修受け入れ科	集中治療部
研 修 の 概 要 ・ 特 徴	<p>集中治療部では、院内の各科専門医と共に救急診療や集中治療にあたっている。集中治療室に入院する重症患者については、入室から退室するまで担当医として診療に従事する。</p> <p>集中治療部では、救急患者以外に、院内外で重症化した患者や侵襲の大きな手術の術後患者の診療にもあたる。研修医は、患者が所属している各科の担当医と共に集中治療室での受け持ち医となり、主体的に診療を行う。集中治療部の指導医は、集中治療部の研修医を指導すると共に、集中治療の専門家として各科担当医とディスカッションし、診療方針を導く。</p>
研 修 の 目 標	<p>（一般目標）</p> <p>研修医は、救急患者や重症患者に対応できるようになるために、救急診療と集中治療診療に参加し、救急医療や集中治療医療に必要な全身観察や生命維持の知識と手技を身に付ける。さらに将来の専門医取得の足がかりとする。</p> <p>（行動目標）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域の救急医療システムを説明できる。 2. 熊本大学病院の救急診療・集中治療のシステムを説明できる。 3. 救急診療・集中治療に必要な物品を列挙できる。 4. 重症救急患者・集中治療患者の診療に参加する。 5. 各々の患者を診療し、病態・問題点・解決法の概略を説明できる。 6. 各々の患者に対する診察・救急処置・全身管理を行う。 7. 救急医療・集中治療に対するモチベーションを高める。 <p>（経験目標 A） 経験すべき診察法・検査・手技：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 救急外来からの申し送りを受 ICU 入室までの患者の状況を把握できる。 2. 画像診断や血液検査の解釈ができる。 3. 既往歴などについて、他院医師とのコミュニケーションができる。 4. ICU 入室患者の身体所見をチェックできる。 5. 呼吸状態の観察から気道確保の必要性を判断し気道確保ができる。 6. 呼吸状態を観察から呼吸補助の必要性を判断し人工呼吸ができる。 7. 循環動態を把握し循環補助の必要性を判断し循環補助ができる。 8. 水、電解質バランス・酸塩基平衡を評価し補正ができる。 9. 脳・神経系障害を診断できる。 10. 腹部・後腹膜に障害は無いかを診断し初期治療ができる。 11. 四肢・皮膚・軟部組織の障害を診断し初期治療ができる。 12. 感染症に対する予防・治療ができる。 13. 栄養のアセスメントができ、適切なエネルギーの投与ができる。 14. 精神的な問題を把握し、初期治療できる。 15. 治療の目標を設定し、治療の結果を評価できる。 16. 患者・指導医・看護師・技師等と患者の病態を議論できる。 17. 診療に必要な各種書類を作成できる 18. 他医でのフォローアップやリハビリを依頼し転院の計画を練れる。

	<p>19. 死亡確認や死後の処置ができる。</p> <p>(経験目標 B) 経験すべき症状・病態・疾患：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外傷、熱傷 2. 急性薬物中毒 3. 精神障害や精神疾患を合併した身体的障害 4. 急性臓器不全 5. 多臓器不全・DIC・敗血症・ショック 6. 大侵襲手術の術後 7. 移植後や免疫不全 <p>(経験目標 C) 経験できる医療現場：</p> <p>熊本大学病院集中治療部</p>
<p>研修の方略 (スケジュール等)</p>	<p>3ヶ月間の研修ではさまざまな重症疾患を経験することができる。具体的には</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 重症感染症、敗血症、多臓器不全の治療 2) 血液浄化法を必要とするような腎不全、肝不全、中毒、自己免疫疾患等 3) 人工呼吸器を使用した呼吸管理と人工呼吸器からの離脱戦略 4) 補助循環 PCPS、IABP などの機械的補助を用いた循環管理 5) 肝移植手術の術後管理 6) ICLS に準じた標準的心肺蘇生法の習得 7) JATEC に準じた外傷初期診療の経験 8) 気管切開術など、小手術の補助や術者 9) その他、小児から高齢者まで集中治療室内で経験する全身管理 <p>24時間体制で救急集中治療患者を受け入れているので、患者搬入の連絡があれば指導医と共に救急患者を受け入れ救急診療に従事する。月-金曜日 8:30、土日曜 9:00 からのカンファレンスでは診療方針について主治医を交えたディスカッションをする。月曜日には週間カンファレンス、抄読会を行う。</p>
<p>研修の評価</p>	<p>評価は、研修指導医が中心となっていく。研修医手帳に記載された到達目標の達成度の点検・評価は随時行う。研修修了時点で、研修実施責任者が最終的な点検・評価を行う。</p>
<p>研修実施責任者</p>	<p>集中治療部 部長 山本 達郎</p>
<p>研修指導責任者 (指導医)</p>	<p>(正) 鷺島 克之 (副) 成松 紀子</p>
<p>その他特記事項</p>	<p>集中治療部は、日本集中治療医学会専門医指定の認定施設である。</p>